

d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率

【指標の説明】

褥瘡は、患者の QOL の低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど治癒や在院日数の長期化、医療費の増大につながります。そのため、褥瘡予防対策は、提供する医療の重要な項目であり、診療報酬制度にも定められています。

当院では、日々改善活動を行っています。

【褥瘡（d2 以上）の院内新規発生率の計算方法】

（分子）d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数

（分母）入院患者延数

【当院の実績】令和 5 年度

発 生 率：0.034%

集計期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

計 算 式：d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数÷入院患者延数×100

参 考：令和 4 年度全国平均 0.7%（令和 4 年度国立大学病院 病院機能指標より）